

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

令和2年度 事業報告

令和2年度 財務諸表

一般財団法人 油脂工業会館

(令和3年5月25日 理事会提出)

令和2年度 事業報告

I. 事業の状況について

令和2年度も定款に掲げる全事業を実施した。

1. 油脂工業に関する調査研究への助成 (定款 第4条第1項関係)

(1) 若手研究者の育成を目的とした「研究助成制度」は、下記2名の方々に助成を行った。

- 大阪産業技術研究所 森之宮センター 界面活性剤研究室 中川 充 氏
- 岡山大学大学院 自然科学研究科 応用化学専攻 高石 和人 氏

(2) 公益社団法人日本油化学会（以下「日本油化学会」という）の学術「*Journal of Oleo Science*」の出版事業の助成を行った。

また、この学術誌掲載の中から優秀論文に贈る「エディター賞」及び若手研究者を対象とした「ヤングフェロー賞」の研究奨励金を寄附した。

2. 油脂工業に関する技術、経営の向上に寄与する (定款 第4条第2項関係) 優秀論文の表彰

(1) 「第20回油脂優秀論文賞受賞講演会」は、令和2年9月24日に、岐阜大学にて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、開催を中止とした。

(2) 令和2年度油脂産業論文の内部審査委員会を11月5日に開催した。

応募件数20編より一次審査合格として11編を選定した。

更に、松原審査委員長及び外部・内部の審査委員が出席する、合同審査委員会を11月27日に開催し、下記の論文を第52回油脂産業論文優秀賞に選定した。

【最優秀賞】

課題テーマ：油脂産業と気候変動に対するレジリエンス対応

論文題名：パームプロテインによる持続可能型未来の創発

執筆者：花王株式会社 福井 博之 氏

関 雄一郎 氏

【優秀賞】

課題テーマ：油脂産業と気候変動に対するレジリエンス対応

論文題名：落花生のポテンシャルを活かした大豆油代替システムの構築

執筆者：日油株式会社 田上 安宣 氏

杉本 卓巳 氏

【優秀賞】

課題テーマ：油脂産業と気候変動に対するレジリエンス対応

論文題名：「大洪水時代」に適應するスマート遊水地構想
～命を救う遊水地で、世界を救う藻類を育てる～

執筆 者：花王株式会社 伴 武 氏

【審査委員特別賞】

課題テーマ：DX（デジタルトランスフォーメーション）と油脂産業の将来像

論文題名：AFEMS（Algae Farm Energy Management System）が つなぐ
モノづくりと地方創生

執筆 者：ミヨシ油脂株式会社 堀内 貴美子 氏

- (3) 令和2年度油脂技術論文の審査委員会を 11月24日、宮下審査委員長ほか内部
審査委員が出席して開催し、推薦論文24編の中から、下記の論文を第64回油脂
技術論文優秀賞に選定した。（執筆者代表3名以内を記載）

【最優秀賞】

論文題名：マイバムに由来する極性脂質の膜安定性に対するミネラルオイルの
添加効果

執筆 者：ライオン株式会社 吉田 雅貴 氏

佐藤 惇志 氏

国立大学法人宇都宮大学 飯村 兼一 氏

掲載誌名： *Journal of Oleo Science*, **69**(5), 429-436 (2020)

【優 秀 賞】

論文題名：炭酸ガスによるプロテアーゼ活性化を介した皮膚鱗屑の改善

執筆 者：花王株式会社 深川 聡子 氏

村瀬 孝利 氏

掲載誌名： *International Journal of Cosmetic Science*,

42(6), 564-572 (2020)

【優 秀 賞】

論文題名：粒子内自己分解反応に基づくメッセンジャーRNA送達用の自己
分解性脂質様物質

執筆 者：国立大学法人千葉大学 秋田 英万 氏

田中 浩揮 氏

日油株式会社 中井 悠太 氏

掲載誌名： *Advanced Functional Materials*,

30(34), 1910575-1910592 (2020)

- (4) 令和2年度油脂優秀論文表彰式は、当財団の創立記念日である令和3年2月
19日に経団連会館で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言

の発令を受け、3月12日に延期開催を予定した。しかし、緊急事態宣言の延長の宣言を受け、油脂優秀論文授賞式と名称を変え、緊急事態宣言明けの3月23日、帝国ホテルにて 定時理事会の終了後 理事・監事の臨席の下 実施した。

3. 油脂工業に関する普及及び啓発 (定款 第4条第3項関係)

日本油化学会 各支部主催、油脂工業会館共催の地区講演会は、3地区で開催した。

実施日	地区	会場	参加者
11月02日 ～07日	東京都中央区	油脂工業会館をキーステーション としたweb開催	484名
11月14日	宮城県名取市	尚綱学院大学地域連携交流プラザ をキーステーションとしたweb 開催	54名
02月21日	愛知県 名古屋市	東亜合成株式会社 名古屋工場 及び R&D総合センター	25名

4. 油脂工業に関する情報の収集及び提供 (定款 第4条第4項関係)

(1) 定期講演会を当会館会議室において開催した。

実施日	回数	講師および演題	参加者
10月16日	第78回	株式会社感性リサーチ 代表取締役社長 黒川伊保子 氏 『感性コミュニケーション ～男女脳差理解による組織力アップ講座～』	39名

尚、春の定期講演会として5月22日に本件開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、講師の了承を得て延期しての開催とした。

また、会場の感染防止対策を講じると共に、参加者数を40名以内と通常の約半数に絞った形での開催とした。

(2) 研究会は20回目として開催を予定としたが、新型コロナウイルス感染症拡大が進む中、参加者の安全を考慮し、中止とした。

5. 内外関係機関等との交流及び協力 (定款 第4条第5項関係)

東アジア各国の油化学関連の研究者・技術者に対する日本油化学会学術誌への投稿支援ならびに同学会年会への参加費用の補助として、日本油化学会に対して助成した。

6. 会館の管理運営

(定款 第 4 条第 6 項関係)

(1) ビル賃貸事業は、令和 2 年度はテナントの入退室は以下の通りであった。

退出：無し

入居：1 階部分 1 テナント

この結果、満室を維持している。

(2) 設備工事等については、

- ・ 地下 2 階ボイラー燃料タンク撤去工事
- ・ 個別空調更新・新設工事
- ・ 空調機熱交換器更新工事
- ・ 共用部照明の L E D 化工事
- ・ 棟屋倉庫改修工事
- ・ 喫煙室改修工事
- ・ 屋上棟屋防水工事

等 及び 小規模の工事を実施し、建物の維持管理はもとより入居者への利便性向上に努めた。

II. 総務の状況について

1. 公益法人制度対応

令和元年度の公益目的支出計画実施報告書は、令和 2 年開催の評議員会決議後に遅滞なく届出し、内閣府に承認された。

令和 2 年度の公益目的支出計画実施報告書は、監事の監査を受けている。

2. 役員会に関する事項

(1) 定時理事会 令和 2 年 5 月 8 日、理事 濱逸夫より下記議案について書面により理事全員及び監事全員に対し提案し、令和 2 年 5 月 27 日迄に当該案件について同意する旨の書面を理事全員から受領し、かつ、当該提案に対して意義が無い旨の書面を監事全員から受領したので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 第 197 条で準用する同法第 96 条 及び 当法定款第 36 条に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなした。

○理事会：理事 9 名、監事 3 名

報告事項 1：令和元年度事業報告の件

報告事項 2：理事長及び専務理事の職務執行状況報告の件

決議事項 1：令和元年度財務諸表(案)承認の件

決議事項 2：評議員会招集の件

議事経過については議事録の通りである。

(2) 定時評議員会は、令和 2 年 5 月 29 日、代表理事濱逸夫より下記議案について評議員全員に対し提案を行い、令和 2 年 6 月 8 日迄に当該提案について同意する旨の書面を受領したことから、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律

第194条第1項、並びに当法人定款第21条に基づき当該提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなした。

○評議員会：評議員8名、理事2名、監事1名

決議事項1：令和元年度計算書類承認の件
議事経過については議事録の通りである。

(3) 令和3年3月23日、定時理事会を帝国ホテルにて開催した。

○理事会：出席理事8名、監事3名

決議事項1：令和2年度事業計画(案)、収支予算(案)承認の件
決議事項2：会館規定改定承認の件
決議事項3：事務局職員採用承認の件
議事経過については議事録の通りである。

以上

1. 財務諸表

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	項番	当年度	前年度	増 減
資産の部	1			
〔流動資産〕	2			
現金	3	231,996	64,420	167,576
銀行預金	4	209,882,517	216,530,500	△ 6,647,983
現金預金等	5	12,435,066	12,352,128	82,938
仮払金	7	116,551	116,545	6
未収金	8	67,815	254,122	△ 186,307
未収利息	9	172,563	240,161	△ 67,598
流動資産合計	10	222,906,508	229,557,876	△ 6,651,368
〔固定資産〕	11			
(基本財産)	12			
基本財産土地	13	1,000,000	1,000,000	0
基本財産合計	14	1,000,000	1,000,000	0
(特定資産)	15			
基本財産積立資産	16	72,014,994	71,473,391	541,603
論文基金引当資産	17	41,598,200	41,597,700	500
建物改修引当資産	18	90,468,360	80,015,950	10,452,410
退職給付引当資産	19	9,524,382	8,422,353	1,102,029
預り敷金引当資産	20	69,934,000	59,637,000	10,297,000
研究助成引当資産	21	20,248,980	20,324,310	△ 75,330
特定資産合計	22	303,788,916	281,470,704	22,318,212
(その他固定資産)	23			
基本財産建物	24	21,015,038	22,005,275	△ 990,237
建物	25	106,898,428	104,224,038	2,674,390
建物附属設備	26	75,878,703	75,120,434	758,269
什器備品	27	3,417,461	3,349,817	67,644
電話加入権等	28	213,943	213,943	0
その他固定資産合計	29	207,423,573	204,913,507	2,510,066
固定資産合計	30	512,212,489	487,384,211	24,828,278
資産の部合計	31	735,118,997	716,942,087	18,176,910
負債の部	32			
〔流動負債〕	33			
未払消費税等	35	2,315,300	3,218,700	△ 903,400
未払法人税等	36	17,107,500	16,798,700	308,800
預り金	37	277,457	287,151	△ 9,694
前受金	38	19,127,460	20,182,602	△ 1,055,142
賞与引当金	39	543,633	623,266	△ 79,633
流動負債合計	40	39,371,350	41,110,419	△ 1,739,069
〔固定負債〕	41			
預り敷金	42	100,776,000	99,915,200	860,800
退職給付引当金	43	9,517,500	8,441,100	1,076,400
固定負債合計	44	110,293,500	108,356,300	1,937,200
負債の部合計	45	149,664,850	149,466,719	198,131
正味財産の部	46			
〔指定正味財産〕	47			
寄付金(土地)	48	1,000,000	1,000,000	0
論文奨励賞基金	49	41,500,000	41,500,000	0
指定正味財産合計	50	42,500,000	42,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	51	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	52	(41,500,000)	(41,500,000)	(0)
〔一般正味財産〕	53			
(うち特定資産への充当額)	54	(182,830,534)	(171,911,171)	(10,919,363)
一般正味財産合計	55	541,954,147	523,975,368	(17,978,779)
正味財産の部合計	56	585,454,147	567,475,368	17,978,779
負債及び正味財産合計	57	735,118,997	716,942,087	18,176,910

正味財産増減計算書

自令和2年4月1日 至令和3年3月31日

(単位：円)

科 目	項番	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部	1			
1. 経常増減の部	2			
(1) 経常収益	3			
①特定資産運用収入	4			
特定資産利息収入	5	1,190,863	1,145,514	45,349
②事業収益	6			
賃貸料収入	7	152,638,600	156,373,280	△ 3,734,680
共用費収入	8	23,021,626	22,925,917	95,709
③雑収益	9			
受取利息	10	87,692	87,662	30
雑収入	11	1,977,876	1,968,948	8,928
経常収益計	12	178,916,657	182,501,321	△ 3,584,664
(2) 経常費用	13			
①事業費	14			
給与手当	15	17,134,804	17,494,111	△ 359,307
賞与	16	1,186,394	1,180,255	6,139
福利厚生費	17	3,218,926	3,213,837	5,089
賞与引当金繰入	18	516,451	592,103	△ 75,652
退職給付費用	19	2,518,830	1,160,235	1,358,595
旅費・宿泊費	20	125,294	298,411	△ 173,117
式典費	21	465,927	1,651,784	△ 1,185,857
表彰金	22	3,280,000	3,168,426	111,574
審査料	23	1,772,729	1,772,726	3
講演費	24	300,000	500,000	△ 200,000
印刷製本費	25	871,130	827,318	43,812
通信費	26	214,130	156,523	57,607
寄附金	27	800,000	800,000	0
助成金	28	3,000,000	4,000,000	△ 1,000,000
共催金	29	1,000,000	1,000,000	0
交際費	30	88,900	529,598	△ 440,698
雑費	31	159,173	190,830	△ 31,657
ビル管理委託費	32	40,952,807	40,944,549	8,258
保守保全費	33	5,199,374	3,492,550	1,706,824
修繕費	34	3,460,610	8,644,063	△ 5,183,453
光熱水料費	35	7,788,392	8,857,572	△ 1,069,180
備品費	36	4,109,974	3,515,498	594,476
消耗品費	37	1,327,376	1,058,025	269,351
保険料	38	578,812	489,142	89,670
租税公課	39	22,902,223	22,930,802	△ 28,579
交際費	40	420,019	1,136,149	△ 716,130
会議費	41	22,521	47,830	△ 25,309
交通費	42	389,471	530,535	△ 141,064
印刷製本費	43	10,945	91,938	△ 80,993
通信費	44	198,776	197,747	1,029
諸会費	45	435,959	433,969	1,990
雑費	46	1,865,323	1,603,490	261,833
減価償却費	47	15,766,383	16,947,483	△ 1,181,100
②管理費	48			
給与手当	49	901,835	920,741	△ 18,906
賞与	50	62,442	62,119	323
福利厚生費	51	169,405	193,569	△ 24,164
賞与引当金繰入	52	27,182	31,163	△ 3,981
退職給付費用	53	132,570	61,065	71,505
役員会費	54	371,417	312,566	58,851
ビル管理委託費	55	205,793	205,751	42
保守保全費	56	26,127	17,550	8,577
修繕費	57	17,390	43,437	△ 26,047
光熱水料費	58	39,138	44,511	△ 5,373
備品費	59	20,654	17,666	2,988
消耗品費	60	6,669	5,316	1,353
保険料	61	2,908	2,458	450
租税公課	62	115,086	115,231	△ 145
交際費	63	2,111	5,709	△ 3,598
会議費	64	113	240	△ 127
交通費	65	1,958	2,666	△ 708
印刷製本費	66	55	462	△ 407
通信費	67	998	993	5
諸会費	68	2,191	2,181	10
雑費	69	9,374	6,626	2,748
減価償却費	70	84,511	90,811	△ 6,300
経常費用計	71	144,281,580	151,600,330	△ 7,318,750
評価損益等調整前当期経常増減額	72	34,635,077	30,900,991	3,734,086
特定資産評価損益等	73	764,547	△ 1,339,038	2,103,585
当期経常増減額	74	35,399,624	29,561,953	5,837,671
2. 経常外増減の部	75			
(1) 経常外収益	76	0	0	
経常外収益計	77	0	0	0
(2) 経常外費用	78			
固定資産除却損	79	219,740	0	219,740
経常外費用計	80	219,740	0	
当期経常外増減額	81	△ 219,740	0	△ 219,740
税引前当期一般正味財産増減額	82	35,179,884	29,561,953	5,617,931
法人税、住民税及び事業税	83	17,201,105	16,870,096	331,009
当期一般正味財産増減額	84	17,978,779	12,691,857	5,286,922
一般正味財産期首残高	85	524,975,368	512,283,511	12,691,857
一般正味財産期末残高	86	542,954,147	524,975,368	17,978,779
II 指定正味財産増減の部	87			
論文奨励賞基金収入	88	0	0	0
当期指定正味財産増減額	89	0	0	0
指定正味財産期首残高	90	42,500,000	42,500,000	0
指定正味財産期末残高	91	42,500,000	42,500,000	0
III 正味財産期末残高	92	585,454,147	567,475,368	17,978,779

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日

科目	項番	実施事業等会計					その他会計 会館運営事業	法人会計	内部取引	合計	備考
		継1(表彰)	継2(助成)	継3(講演)	共通	小計					
I 一般正味財産の部	1										
1. 経常増減の部	2										
(1) 経常収益	3										
① 特定資産運用収入	4										
特定資産利息収入	5	109,535	131,039		324,183	564,757	626,106			1,190,863	
② 会館運営事業収入	6										
賃貸料収入	7						152,638,600			152,638,600	
共用費収入	8						23,021,626			23,021,626	
③ 雑収益	9										
受取利息	10				87,403	87,403	289			87,692	
雑収入	11						1,977,876			1,977,876	
経常収益計	12	109,535	131,039	0	411,586	652,160	178,264,497			178,916,657	
(2) 経常費用	13										
① 事業費	14										
給与手当	15				1,803,664	1,803,664	15,331,140			17,134,804	
賞与	16				124,883	124,883	1,061,511			1,186,394	
福利厚生費	17				338,843	338,843	2,880,083			3,218,926	
賞与引当金繰入	18				54,363	54,363	462,088			516,451	
退職給付費用	19				265,140	265,140	2,253,690			2,518,830	
旅費・宿泊費	20	121,494		3,800		125,294				125,294	
式典費	21	465,927				465,927				465,927	
表彰金	22	3,280,000				3,280,000				3,280,000	
審査料	23	1,590,911	181,818			1,772,729				1,772,729	
講演費	24			300,000		300,000				300,000	
印刷製本費	25	589,830		281,300		871,130				871,130	
通信費	26	126,498		63,768	23,864	214,130				214,130	
寄附金	27		800,000			800,000				800,000	
助成金	28		3,000,000			3,000,000				3,000,000	
共催金	29			1,000,000		1,000,000				1,000,000	
交際費	30	88,900				88,900				88,900	
雑費	31	15,527	2,377	22,170	119,099	159,173				159,173	
ビル管理委託費	32				617,379	617,379	40,335,428			40,952,807	
保守保全費	33				78,383	78,383	5,120,991			5,199,374	
修繕費	34				52,170	52,170	3,408,440			3,460,610	
光熱水料費	35				117,413	117,413	7,670,979			7,788,392	
備品費	36				61,959	61,959	4,048,015			4,109,974	
消耗品費	37				20,011	20,011	1,307,365			1,327,376	
保険料	38				8,726	8,726	570,086			578,812	
租税公課	39				345,260	345,260	22,556,963			22,902,223	
交際費	40				6,332	6,332	413,687			420,019	
会議費	41				340	340	22,181			22,521	
交通費	42				5,871	5,871	383,600			389,471	
印刷製本費	43				165	165	10,780			10,945	
通信費	44				2,997	2,997	195,779			198,776	
諸会費	45				6,572	6,572	429,387			435,959	
雑費	46				28,120	28,120	1,837,203			1,865,323	
減価償却費	47				237,764	237,764	15,528,619			15,766,383	
② 管理費	48										
給与手当	49						901,835			901,835	
賞与	50						62,442			62,442	
福利厚生費	51						169,405			169,405	
賞与引当金繰入	52						27,182			27,182	
退職給付費用	53						132,570			132,570	
役員会費	54						371,417			371,417	
ビル管理委託費	55						205,793			205,793	
保守保全費	56						26,127			26,127	
修繕費	57						17,390			17,390	
光熱水料費	58						39,138			39,138	
備品費	59						20,654			20,654	
消耗品費	60						6,669			6,669	
保険料	61						2,908			2,908	
租税公課	62						115,086			115,086	
交際費	63						2,111			2,111	
会議費	64						113			113	
交通費	65						1,958			1,958	
印刷製本費	66						55			55	
通信費	67						998			998	
諸会費	68						2,191			2,191	
雑費	69						9,374			9,374	
減価償却費	70						84,511			84,511	
経常費用計	71	6,279,087	3,984,195	1,671,038	4,319,318	16,253,638	125,828,015	2,199,927		144,281,580	
投資有価証券評価損益等	72		△ 75,330		265,338	190,008	574,539	0		764,547	
当期経常増減額	73	△ 6,169,552	△ 3,928,486	△ 1,671,038	△ 3,642,394	△ 15,411,470	53,011,021	△ 2,199,927		35,399,624	
2. 経常外増減の部	74										
(1) 経常外収益	75										
経常外収益計	76	0	0	0	0	0	0	0		0	
(2) 経常外費用	77										
固定資産除却損	78				4,395	4,395	215,345			219,740	
経常外費用計	79	0	0	0	4,395	4,395	215,345	0		219,740	
当期経常外増減額	80	0	0	0	△ 4,395	△ 4,395	△ 215,345	0		△ 219,740	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	81	△ 6,169,552	△ 3,928,486	△ 1,671,038	△ 3,646,789	△ 15,415,865	52,795,676	△ 2,199,927	0	35,179,884	
他会計振替額	82	0	0	0	18,000,000	18,000,000	△ 20,199,927	2,199,927		0	
法人会計から実施事業等会計	83										
法人会計からその他会計	84										
税引前一般正味財産増減額	85	△ 6,169,552	△ 3,928,486	△ 1,671,038	14,353,211	2,584,135	32,595,749	0		35,179,884	
法人税・住民税及び事業税	86						17,201,105			17,201,105	
当期一般正味財産増減額	87	△ 6,169,552	△ 3,928,486	△ 1,671,038	14,353,211	2,584,135	15,394,644	0		17,978,779	
一般正味財産期首残高	88									524,975,368	
一般正味財産期末残高	89									542,954,147	
II 指定正味財産増減の部	90										
論文奨励賞基金収入	91	0	0	0	0	0	0	0		0	
当期指定正味財産増減額	92									0	
指定正味財産期首残高	93						42,500,000			42,500,000	
指定正味財産期末残高	94						42,500,000			42,500,000	
III 正味財産期末残高	95	0	0	0	0	0	0	0		585,454,147	